

編輯部情報閣内

週報

第二二二號

昭和十四年二月十五日

發行

(每週一回水曜日發行)

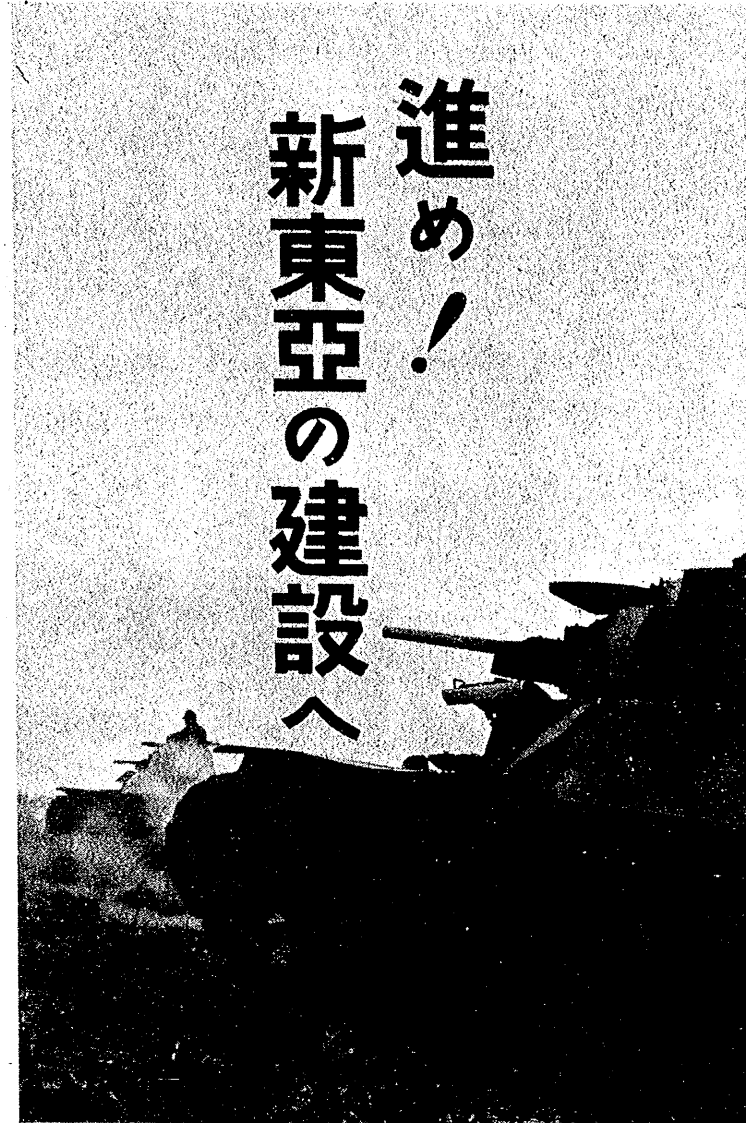


二月十五日號

五中全會について	時局と兵器	世界の鐵道
----------	-------	-------

五錢

露光量違いにより重複撮影



進め!
新東亜の建設へ

週報

二月十五日

第一二二號

世界の鐵道……………鐵道省……………(一)

海上權力の史的考察……………海軍省海軍軍事普及部……………(二)

時局と兵器……………陸軍省情報部……………(三)

——いかに兵器が國産化されつゝあるか——

五中全會について……………外務省情報部……………(四)

海南島とはどんな所か……………(五)

◇官廳情報門書天より……………(六)

露光量違いにより重複撮影

週報

二月十五日 第一三三號

世界の鐵道……………鐵道省……………(二)

海上權力の史的考察……………海軍省海軍軍事普及部……………(二三)

時局と兵器……………陸軍省情報部……………(二七)

——いかに兵器が國産化されつゝあるか——

五中全會について……………外務省情報部……………(三三)

海南島とはどんな所か…………………………(三八)

◇官廳編纂圖書だより…………………………(三九)



世界の鐵道

鐵道省

はしがき

各種交通機關の發明は自然の距離を短縮した。世界の文化が、十九世紀の中心から二十世紀の現在に至る僅か百年の間に、實に隔世的躍進と普及を遂げ得たのは、交通機關殊に鐵道の發達に因ると言つても決して過言ではない。

わが國に於ても、鐵道敷設以前と今日とを比較して見ると全く今昔の感なきを得ない。今は昔、能因法師が「都をば霞と共に立ちしかど秋風ぞ吹く白河の關」と詠じたが、事の眞否は別として兎に角、今日は京都と奥州白河間は十二時間半で行ける時世となつた。また江戸から京の都まで、東海道五十三次百二十六里六町は、普通旅人の足では十五日、早飛脚ですら七日かゝつたのが、今では特急七時間半である。十五日もあればシベリヤ經由

で地球を半分廻つてパリーの土が踏めるのである。天下の難關箱根八里も、丹那トンネルが開通して特急列車が僅か七分でこれを滑つてゐる。鐵道の迅速安全正確と快適の惠澤を感謝せずにはゐられない。

西曆一八一四年、英人スチブソンが蒸氣機關車の製作に成功してから百二十有餘年、その間世界各國は競うて鐵道を敷設經營し、或ひは民間の鐵道事業を保護助長することが、國家の最も大きな政策の一つであつた。これは、鐵道が一國の政治、經濟、文化、軍事その他社會百般の部門に互り、國家の活動と密接不離の關係に在るからである。鐵道が「國家の動脈」といはれ、一國の繁榮は鐵道網の密度によつて測り得るといはれるのもこのためである。

各國の歴史をみると、鐵道はその國の産業開發、文化の發展に多大の貢獻をなしたばかりでなく、封建的な割據的國家體制から近代の統一國家への移行に對して重要な役割を演じたことは共通の事實である。最近に於ては事業經營の見地から、或ひは國防上の必要から、鐵道の統制または國有化が計畫されつゝあることは各國共通の最も注目し得る新傾向である。

さてそれでは、現在世界にどの位の鐵道があるだらうか。一九三四年の調査によれば

洲	距離	面積百平方	人口一萬
歐洲	40,850,000	1.9	8.2
アメリカ洲	60,120,000	1.5	25.5
アジア洲	135,920,000	0.5	1.3
アフリカ洲	68,230,000	0.3	5.8
大洋洲	49,430,000	0.6	63.9
計	1,254,315,000	平均 1.0	平均 6.7

即ち、世界の全鐵道の總延長は赤道の長さの三十倍を超えるのである。更に驚くことには、現在日本の國有鐵道で、毎日文字通り東奔西走してゐる列車が一日に地球

を十九回も廻るのであるから、世界中の鐵道では恐らく毎日一千回は廻つてゐるであらう。

各國の鐵道

明治五年には、新橋横濱間僅か二十九軒に過ぎなかつたわが國有鐵道も六十八年の歳月を経た今日では、その延長正に一萬八千軒、わが國全鐵道軌道の約六六%を占め、これに地方鐵道軌道を加へると二萬七千軒を算し、わづか半世紀餘の間に日本の鐵道交通網は全く飛躍的發展を遂げたといつてよい。その間鐵道がわが國の經濟の充實に、國防の確立に、また文化の伸張に寄與したところ洵に大なるものがあつたことは勿論であるが、今次事變の如き國家總力戦に於ては、多數多量の軍隊軍需品の輸送の萬全を期すると共に、一般民需の客貨輸送に對しても遺憾なきを期し、よく長期戦に堪へて、戦勝有終の美を収めるやうわが國有鐵道は日夜努力してゐる。

次にわが國有鐵道は、運輸上に於ても技術上に於ても、鐵道經營の成績に於ては狭軌でありながら、列國の鐵道に比して斷然優秀な成績を示してゐることは最も大きい

長所である。先づ列車發着時刻の正確なことは世界第一と言はれてゐる。更に貨車の運用成績を見るに、わが國有鐵道の成績を指數一〇〇とすれば、ドイツは四二、イタリーは二五、イギリスは二二である。もう一つの特徴は、各國の大陸鐵道とは反對に旅客収入が貨物収入より多いことである。これは日本は海運によつて運ばれる貨物が比較的多く、他方道路の發達改良が鐵道より遅れてゐるために旅客の自動車による輸送が未だ大きくないことに因るものであらう。

以上のやうに運能率が非常によいといふことは、更に別の見地からみれば、わが國の鐵道はそれだけ弾力性に乏しいといふことになる。今後も國力の伸張に伴ひ益々鐵道網の發布を圖ると同時に、輸送施設の擴充に努め鐵道本來の使命達成に遺憾なきを期せねばならぬ。

また現在わが國に於ける陸上交通界の大きい問題の一つは自動車と鐵道、鐵道と鐵道の運輸の調整を行ふために交通統制を行はなければならないことである。日本の鐵道は、かやうに鐵道の運輸事業の發達改善を圖ると共に、他面國際稅務と國際收支の改善に資する

ころの大きい觀光事業をも益々擴充せしめねばならない使命を負つてゐる。

イギリス

イギリスは鐵道の誕生地であるが、鐵道の發達は最初



(スリギイ) 部内車堂食

かなり困難な過程を経て進まざるを得なかつた。即ち資本家も土地所有者もこの未知の交通機關の將來を見透し得なかつたことと、従來の運河、道路の交通擔當者がその利益を主張して譲らなかつたためである。しかしながら漸次鐵道の重要性が認識されて、鐵道創始より二十五年を経た一八五〇年には既に一〇、一四二杆の鐵道があ

つた。

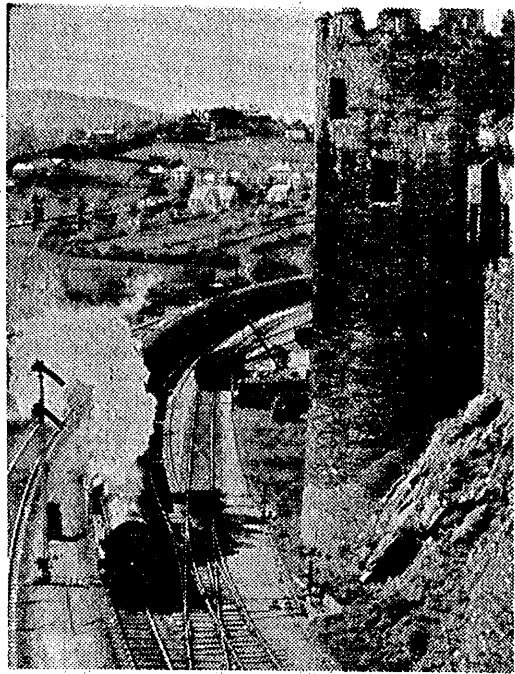
大戦前に於ては鐵道會社が百以上上り、主要鐵道會社が二十八もあつた。これは當時の自由主義的な經濟政策の反映であつたが、一九二二年の鐵道法によつて、百十九の會社が四大鐵道會社に統制されるにいたつた。現在イギリスに於ける全鐵道の營業杆は恐らく三萬五千

杆に垂んとしてゐるであらう。尙ほ英國の鐵道の監督は運輸省が行つてゐる。

イギリスの經濟學者マーシャル教授は「列車回數特に急行列車の數がイギリスのやうに多い所は他にはない。旅行に際して出發の時刻を自由に選べる所も他に全く例がない。しかも列車の平均速度が時速四十哩を越えてまことに快適である」と自讃してゐる。

アメリカ

アメリカに於ては鐵道發達の事情はイギリスのそれとは全く異り、鐵道の發達を阻害するやうな事情は少しも存在しないのみならず、政府も熱心にその發達を援助した。それはこの國が、若くて鐵道の生長を妨げる史的要因が全くなかつたことと、寧ろ歴大にして豐沃な領土を開拓する必要があつたからである。この國では自由主義的交通政策が十分その効果を發揮し、所謂一級鐵道——年間百萬弗以上の營業收入を擧げる鐵道——



(スリギイ) 車汽くゆをりとほの塔古

として擧げられる鐵道會社が百五十五もある現状である。

しかしながらこの國に於ては、イーストマンの如く「米國の鐵道問題を根本的に解決すべき政策は結局國有化である」といふ説のあることは大いに注目し得る。一級鐵道の全幹程は一九三六年度に於て三八一、二一九幹に達し、世界全鐵道の總營業幹の三一%強を占めて世界第一である。「州際交通委員會」がこの國の鐵道の監督機關である。

自動車と鐵道との競争について見るに、アメリカは世界自動車總數の約七割を占める世界第一の自動車王國であり、一九三七年末に旅客自動車二千五百萬臺餘、トラック四百二十五萬臺餘が登記されてゐる。従つて鐵道運輸に對して相當の影響を及ぼしてをり、旅客運輸については次の數字が示すやうにその影響はかなり深刻なものがある。

鐵道運輸旅客數(一級鐵道)

一九一六年	一、〇〇五、九五四、七七七人
一九二一年	一、〇三五、四九六、三三九人
一九三五年	四四五、八七二、三〇〇人

即ち七三%が國有鐵道である。この國有鐵道には二六〇億ライヒスマルクの資本が投下され、従事員數は約七十五萬に達し、世界での最大の企業である。

ドイツの鐵道について最も模範とすべき特徴はその科學的經營にある。例へば、科學的經營の基礎たる實費計算も早くから研究され、自動車對鐵道の競争についても對策が講ぜられ、兩者の勢力分野を保障し、國民經濟に於ける公平なる「運輸の分配」を行ふ最も進歩した調整の法令が制定されてをり、小運送問題に對する對策も他國の範とするところである。

ヒトラー總統が新興ドイツのスタートに當つて國家統一の政策と産業及び軍事上の見地から交通網整備の大計畫を樹立し、國有鐵道の事業として國營自動車専用道路網の普及を圖ると共に、ドイツの鐵道をしてヴェルサイユ條約の桎梏より離脱獨立せしめ、完全なるドイツ國權下に復歸せしめると同時に、逓信大臣の交通大臣兼務を解いて従來のドイツ國有鐵道總裁を交通大臣に専任したことは注目し得る事實である。

フランス

貨物については、その影響は比較的少く、自動車のために鐵道が奪はれた貨物量は、その總運輸量の二割乃至二割にすぎないだらうと言はれてゐる。しかしながら自由主義の新天地たるさすがのアメリカに於ても最近自動車に關する取締りが相當喧しく論議されてゐる。

ドイツ



(ヘンデーガステビル)車列山登のツイド

「合理化」とか「組織化」とか「統制」とかいふ言葉の發生地たるドイツの鐵道事情は、英、米のそれとは自らその趣を異にし、總幹程七四、四〇〇幹の中、五四、三五六幹

從來フランスの鐵道は北部(三、八三〇幹)東部(五、〇六七幹)南部(四、三三三幹)アルサス・ローレン(二、三〇〇幹)國有)パリ・オルレアン(七、四一一幹)パリ・リオン・地中海(九、九五九幹)エタ(九、五九四幹)國有)の七大鐵道の經營するところであつたが、シヨクタン内閣が幾多の困難を克服して一昨昭和十二年八月二十一日緊急命令を發布し、政府と諸鐵道會社との協定により政府が總幹の過半數をもつた半官半民の統制會社たるナショナル鐵道會社を創設して、昨年一月一日からフランスの全鐵道網を統合經營することとなつた。一九八三年以後はこのナショナル鐵道會社の一切の資産は國家の所有に移り、鐵道の國有化が實現されることになつてゐる。

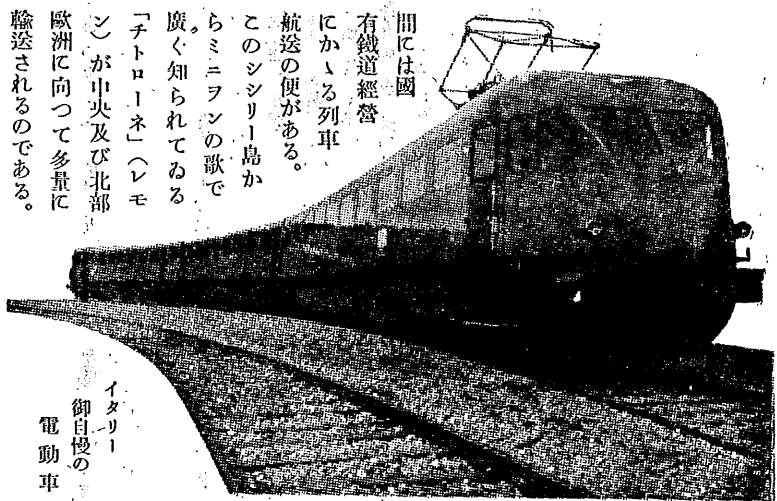
イタリー

イタリーの鐵道は、交通省がその監督官廳であるが、主として國有鐵道であつて、全鐵道に對する國有鐵道の割合は七七%にのぼり、その幹程は一九三六年に一六、八五三幹であるからわが國と殆んど同じである。イタリーの鐵道の著しい特徴は、全鐵道區間に對する電化區間の

割合が多いことである。即ちイタリアには石炭がないから電化が自然促進されたのである。今主要諸外國の鐵道の電化區間割合を見ると次の如くである。(一九三六年)

電化區間營業料	主要(或ひは國有鐵道區間)に對する割合
イギリス	九九三
アメリカ	四、二九九
ドイツ	二、二五六
フランス	二、七八六
イタリア	三、三七〇

イタリアは歐洲文明の搖籃の地として、歐洲人にとつて興味深く、有名な古い繪畫や建築や遺跡に富み、多數の外國人遊覽客を呼んでゐる。このことは鐵道設備の美化を促進し、ミラノの新停車場などは歐洲での最も立派な、最も大きな驛の一つに數へられてゐる。ローマ中央驛も最近完成し、ドイツ總統ヒトラーの來訪を機會に開かれたのであつた。イタリア觀光局の出す宣傳ポスターには、よく「ナポリを見て死ね」といふ詩の句があげられてゐるが、このナポリとローマ間の直通急行列車はイタリアの鐵道の誇となつてゐる。本土とシシリー島との



イタリア
御自慢の
電動車

ソ 聯 邦

地球の陸地面積の六分の一を占めるソ聯邦では、鐵道はこの廣大なる面積を克服するための非常に重要な手段となつてゐる。周知のやうに土地やその他の生産手段がすべて國有化されてゐるこの國では、鐵道も百パーセントに國有化され、交通人民委員部がその監督機關であるが、その運営方針も「利潤」の追求を目的とせず、「國家計畫」に依據して行はれることがソ聯邦鐵道の最も大きな特色である。即ち鐵道の運送規則がその第一條に於て、「鐵道は貨物及び旅客輸送の國家計畫案の遂行を以てその本務とす」と規定してゐる。しかしながら、ソ聯邦に遊んだある外國の技師がその報告の中で、「ソ聯邦の國家計畫はその實現の曉に於てよりも、紙の上の數字に於てより偉大である。」と批評してゐる。

ソ聯邦の發表によれば一九三六年一月一日現在で總營業料は、廣軌八三、一八三軒、狹軌一、二九〇軒である。歐羅部分とアジア部分は約七と三との割合である。革命後の鐵道に於ける大事業としてはツルク・シブ鐵道があり、シベリヤ鐵道の複線化があり、またモスコの地下鐵がある。

支 那

支那の主要な鐵道は「北寧(京山)、京漢、津浦、蘭海、粵漢、京綏(京包)、京滬(海滬)、滬杭甬(海杭)、蘇嘉、正太、南潯、廣九、膠濟」の十三を算へるが、これらは殆んどみな、外國よりの借款で建設されたもので、従つてその投資國の意圖と利益が第一目的であり、支那自體の開發厚生が第二義的のものである。これは支那の鐵道の第一の特異性であるが、第二の特色としては各鐵道間の聯絡が全く不十分で、最近までこれ等鐵道は各所に散在する地方軍閥の資金調達所たるの感があつたことである。一九三五年の調査では鐵道の總延長七、四〇〇軒に及んでゐた。

蔣介石は近代國家形成への第一歩を踏み出すに當り、鐵道をも亦その政策に沿うて國有化により整備せんとしたが、今次事變の勃發によりその殆んど大部分が皇軍の占領するところとなつたので、支那の鐵道の將來が全く變革されることとなるであらう。北支中支に各新政府の樹立を見、北支開發、中支振興の兩會社が設立され、今や新支那の鐵道も期して待つべきものがある。

日本を中心とする國際聯絡

最後に日本を中心とする国際聯絡について一言すれば、隣邦滿洲國との間及びシベリヤを經由して歐洲諸國との間に、旅客、手小荷物、貨物の聯絡運輸がある。また中華民國との間にも二十數年前より旅客、手小荷物の聯絡運輸があつたが、今次事變の勃發により事實上自然消滅の形となつた。ところが北支の治安漸く回復し、旅客、貨物の移動繁きを加へんとする趨勢に鑑み、昨年十月一日からは日本と北支間を聯絡する旅客手小荷物聯絡運輸の便が開かれ、引續き十月十五日からは貨物の聯絡運輸が開始された。今後中支、南支に於ける情勢が安定すると共にその聯絡の範圍も次第に擴張されるであらう。

符で、荷物は一度の託送で容易に歐亞大陸の鐵道に向つて便利に輸送されるのである。尚ほ、日本の國有鐵道は國際鐵道會議協會（本部、ブラッセル）及び國際鐵道聯合會（本部は巴里にある）に加入してをり、國際聯絡運輸の改善に協力しつゝあると共に、ニューヨーク、ベルリン、ロンドン、奉天、北京、上海等には鐵道省の海外事務所を設置して鐵道を通じて日本の國際的活動に資してゐる。

主要列國鐵道の保有勢力の比較

以上、主要列國の鐵道の特殊事情について概説したが、最後に、これ等諸國鐵道の營業料、營業成績、保有車輛數、従事員數等を基礎とした現有勢力を一括して、比較して見ると次の如くである。

列國鐵道比較表 (一九三三年度) — 昭和九年

全國鐵道總幹	イギリス	アメリカ	ドイツ	フランス	イタリア	ソ聯邦	支那	世界
總營業料	三二八〇三	四一五九四八	六八七六	六四六二〇	二三〇三五	八一五八〇	一〇七〇七	一、一五四三、五
百平方當料	一三六	四四	一四六	一七	七四	〇四	—	一〇
人口一萬人當料	七一	三三九	一〇五	一五四	五四	四八	—	六七

列國主要鐵道

營業	營業料		營業人員		營業車輛		營業設備		營業成績	
	總營業料	百平方當料	總營業料	百平方當料	總營業料	百平方當料	總營業料	百平方當料	總營業料	百平方當料
イギリス	三二八〇三	一三六	三三九	七一	一〇五	一五四	五四	四八	—	六七
アメリカ	四一五九四八	四四	三三九	七一	一〇五	一五四	五四	四八	—	六七
ドイツ	六八七六	一四六	一〇五	一五四	五四	四八	—	六七	—	—
フランス	六四六二〇	一七	一五四	五四	四八	—	六七	—	—	—
イタリア	二三〇三五	七四	五四	四八	—	六七	—	—	—	—
ソ聯邦	八一五八〇	〇四	四八	—	六七	—	—	—	—	—
支那	一〇七〇七	—	—	—	—	—	—	—	—	—
世界	一、一五四三、五	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 (1) 英國ハ四大陸鐵道、德國ハ六大陸鐵道、米國ハ一統鐵道ニ關スル數ナリ、獨逸、伊太利ハ國有鐵道ニ關スル數ナリ。
 (2) 英國、佛米、伊ハ運輸局、世界各國鐵道總幹(一九三三年度)ニ關スル。

海上権力の史的考察

海軍省海軍軍事普及部

一
聖戦こゝに一年有半、事變は更に新たな段階に突き進み、帝國はいよゝ新東亞秩序建設といふ、曠古未有の大事業に當面することとなつた。即ち東亞の安定勢力たるわが日本の指導下に日滿支三國が提携して所謂共存共榮の理想を實現して東洋永遠の平和を打建て、延いては普く世界人類の安寧福祉に貢獻せんことを期するものである。

この東亞再建の事業たるや、政治的に、經濟的に、思想的に、文化的に極めて廣い部門に亘り、それゝ劃期的革新工作を要求されつゝあるところであるが、まづ指導者の地位に立つわが日本が、東亞の安定勢力たる實力を保有することが第一義的先決條件であるといはねばならぬ。即ちわが日本自身が十分な國防力を持つてゐなければならぬ。

ばならぬのである。しかし當面の急務として、わが國防の核心たる強大なる武力を必要不可欠とするのである。

それは同じく建設工作といふ言葉を使ふにしても、平時に於ける建設と、戦時に於ける建設とは、同日に談ずることが出来ないばかりでなく、建設にたづさはる國家以外の第三國が、これを妨害すると否とによつてもまた自ら状況を異にするべきは當然である。

今現に、わが日本は事變下にあり、事實は未曾有の大戦争を遂行中であつて、しかもイギリスを主力とする援蔣第三國群が執拗なる妨害をなし、今後も武力を背景としてこれを続けようとする企圖してゐる現状である。かゝる情勢の下に於て、わが日本が徒らに戦捷に陶醉して、丸腰で建設工作を遂行し得ようなどと考へたらそれを痴人の夢であらう。北方より虎視眈々としてわが虚を狙ふソ聯に對して、

わが陸軍力の充實強化を急務とすると同時に、世界の覇者を以て自ら任じ、何事につけても他國に干渉することを棄とする英國的勢力を封ずるためには、わが海軍力はいよゝ充實強化して西太平洋の制海權をわが手に確保することが絶対必要條件である。

世人は大陸發展、大陸經營等に於ける大陸といふ言葉に捉はれて、往々にして海軍軍備の效用を看過し勝ちであるが、今こそ認識を新たにこの新東亞再建の大事業に當らなければならぬのである。

この意味に於て、こゝに過去に於けるわが大陸發展と海軍力との關係を概説することは、時節柄有意義な事と信ずる。

二

國史をかへりみるに、崇神天皇の朝、倭、弁韓地方が新羅と百濟の挾撃を受け、救援をわが國に求めてきたので、天皇は鹽乘津彦(海軍提督の意)を遣して難を救はしめ給うた。その結果、そこに任那國が生れ、やがて任那日本府が建設せられて、この地方を統治するにいたつた。

これがわが日本の政治的に海外に發展した嚆矢であり、即ちわが大陸政策は海軍力によつてその第一歩を踏み出したのである。

次いで神功皇后が舟師を率ゐて新羅を征服し給うてから、任那日本府の勢力は朝鮮半島に重きをなし、爾來約四百年の間、半島はわれに歸屬したのであつた。

神功皇后の率ゐ給うた舟師の遠征は、今日の言葉でいへば、堂々たる艦隊の渡洋進軍作戦であつたに相違ない。新羅王はわが艦隊の威容を望んで戦はずして屈伏し、ついで高麗、百濟もまたわが軍門に降つたのである。

これより先、叛服常なき熊襲に對して、景行天皇を始め、日本武尊、仲哀天皇、神功皇后等が相繼いで征討の師を興し給うたのも、當時九州の豪族どもが擅にせる西海の制海權を収めて、半島との交通路を安全に確保せんがための御恩召であつたと拜察されるのである。

かくてわが國は、西海の制海權を掌握して國威を宣揚し、朝鮮及び支那の文化を輸入して、國內の文化は學術、宗教、美術工藝等あらゆる方面に著しい發達を遂げた。

しかしながら、大陸文化の浸潤するや、わが國民は漸

く質實、剛健、尙武の氣風を、いつとあつたのである。そして半島に於けるわが勢力は、わが海軍力の消長を反映して一張一弛を繰り返してゐたが、海軍力の不振と外交の失策と相俟つて、任那日本府は、欽明天皇の二十三年(皇紀二二二三年)遂に新羅のために滅ぼされた。その後わが國は銳意艦隊を整備し、推古天皇の時には二度までも新羅を伐つて武威を示したが、任那の回復は遂にならなかつた。

天智天皇の三年(皇紀二二三年)百濟救援のため半島に急航したわが水軍が、唐と新羅との聯合軍と白村江(錦江)口に戦つて惨敗の憂目を見るに及んで、わが國は朝鮮半島を全く放棄するの已むなきにいたり、こゝに數百年半島經營の歴史は終焉を告げた。

かくしてわが國第一次の大発展は惜しくも挫折したのである。そしてこの白村江口に於ける敗戦は實に海國日本千年の運命を決定したものであつた。

海軍力なき海國の運命は寔に悲惨である。海洋精神を喪失したわが國民は、小日本の殼にたて籠つて骨肉鬭争を事とするやうになり、やがて前記の如く大陸に於ける基礎を放棄することとなつたのである。

海を忘れ、進んで守ることを忘れてしまつたわれ等の祖先は、攻撃が最良の防禦である事を悟らず、わが海岸線を以て國防の第一線と心得るやうになつた。かつては九州鎮守を任とした太宰府は外敵防禦の本部と化し登岐、對馬をはじめとし、九州の沿岸には諸所に城塞が築かれたのであつた。

そしてその中に天がわが國民の頭上に一大鐵槌を加へてくれたのが、彼の元寇の國難であつた。元寇こそは日本國民にとつて眞に好箇の一大試練であつた。

元寇に刺戟されて國民の海洋精神は蘇生し、對外的勇氣が勃興し、倭寇といふ私的水軍が興つて高麗や元の沿岸を荒し廻り、その勢力は北は山東地方から南は廣東地方、南洋方面にまでも及んだが、惜しいかな、倭寇は海賊に始まり海賊に終り、組織あり統制ある海軍力として發達を遂げなかつたので、わが大陸發展の礎石とはならず、その功績としてはわが國民の海洋精神を鼓舞し、海洋發展を促進したに過ぎなかつたといへよう。

後年國內を統一した豊臣秀吉は、夙に支那、南洋方面へ發展しようとの雄圖を抱き、遂かにゴアの印度副王、マニラのスペイン太守にも入貢を促した。然るに當時朝鮮

は明を怖れて秀吉の意に従はないので、まづこれを伐つて然る後に明に及ぼさうとしたのである。これが文祿、慶長の兩役であつた。

しかし前後七年に亘る朝鮮の征戰も遂に酬いられず、九役の功を一篋にかき、秀吉の雄圖をして空しく一場の夢と化せしめたものは、水軍の整備を怠りしことと、敵に一人の名提督李舜臣あつて、終始わが水軍に打撃を與へたがためであつた。

海戰の敗績は遂に陸戰の大捷を空に歸せしめ、わが軍は作戦の目的を達することなく、半島を引揚げねばならなかつた。こゝにわが國は、再度海軍の不振から大陸發展の失敗を繰返したのである。

海戰の勝敗は常に國家の盛衰興亡を決定すること、古今東西の歴史がこれを證明してゐる。しかして近世、日清、日露の兩戰役に於て、始めてわが陸海軍が一團となつて克く有機的機能を發揮し、わが大陸國策の第一歩を踏出すにいたつたのである。

しかしこの間、日清戰役直後、わが陸海軍軍備及び國力の不足が彼の三國干渉を誘致し、わが大陸發展の川足が一時阻止され、わが國民が血涙を呑んだ忍苦十年の體

験を想起して、われわれは思ひを深く今事變を繞る現下の國際情勢に致し、悔を後世に殘さるやう嚴肅なる決意と周到なる準備を用意しなければならぬ。

最近には滿洲、上海兩事變に際して、時の米國國務卿スチムソンが、わが國に對して武力干渉に訴へようとしたが、ブラット提督の諫止に依つてこれを斷念するにいたつたことは、今では公然の秘密として世界周知の事實である。

當時は日米海軍勢力比が、未だ所謂條約比に達せず、米國海軍はわが海軍に比べてその内容に於て、彼が欲する程度にいたつてゐなかつた。即ち當時補助艦以下艦艇の總數が、日本の二〇八隻に對して、米は三五五隻であつたが、艦齡超過の老朽艦艇が、我の三七隻に對して彼は二〇〇隻の多數に達してゐたのであつた。

かくして帝國海軍の沈黙の威力は、克く太平洋の平和を維持し、わが大陸經營は遂に、滿洲國建國の大業を完成せしめたのである。

更に今次事變に於ても、わが日本に對して非友好的な援將第三國とわが國との間に一再ならず不幸な事件を偶發したにも拘らず、概ね圓滿なる諒解と解決を遂げ得

た所以のものは、固よりわが方の誠意とわが正義に基づき外交の賜物ではあるが、また帝國海軍の儼たる存在が、第三國をして我に對して不法なる抗議と干渉を提起するの餘地なからしめた必然の結果であるといはねばならぬ。

若しもわが海軍力にして、西太平洋を守るに足りない劣弱なものであつたとしたならば、事變の初期、國際都市上海が戦火の巷に投ぜられた時早く、既に援將第三國の強硬な威嚇と干渉を誘致したことであらう。そしてわが國は蔣介石の思ふ壺にはまり、彼をして名をなさしめたであらう。

今事變に於て帝國海軍が、直接支那大陸に於ける皇軍の戰闘に参加して赫々たる戦果を收めつゝあることは周知のとほりであるが、また聯合艦隊や内地海軍部隊が前述の如き重大なる役割を勤めつゝある事實を斷じて見逃がしてはならない。

しかしして新東亞建設の諸工作が、一面戰闘と並行して行はれんとする事變の現段階に於ても、また抗日支那との武力戦の終結を見るにいたつた時に於ても、わが日本が東亞の安定勢力たるの實力を維持し、新東亞再建の

指導力を發揮する上に於て、わが海軍力はいよゝ重大なる役割を負擔しなければならぬのである。

この認識に基づき強大なる國防力の一環としての充實せる海軍力なくしては、新東亞秩序建設の大業は覺つかないといはねばならぬ。即ち海國日本の大陸發展、大陸經營が、強大なる海軍力の與力、換言すれば西太平洋の制海權を確保せずしては、不可能なること、國史がこれを證明してゐるばかりでなく、眼前の事實が雄辯にこれを物語つてゐるのである。

何となれば今や事變下に、否大戰爭下に着手された新東亞秩序建設の一大事業は、單に東亞に國を成す日滿支三國間のみに關する問題ではなく、遙かに海を越えて彼方に存在する世界列強とも交渉を持つ問題であるからである。

これを要するにわが大陸發展と海軍力とは不可分の關係にあり、わが大陸發展を阻止せんとする列強の存在する限り、海軍問題は世界の問題として取上げられるであらう。

時局と兵器

— 如何に兵器が國産化されたいか —

陸軍省情報部

一 連戰茲に一年有半、今や支那の樞要部は擧げて皇軍の手に歸し其の戦果の偉大なること實に驚嘆すべきものがある。

これ備に、陛下の御稜威の下、忠勇なる將兵の勇戦奮闘、皇軍独自の卓越せる指揮統帥、熱誠なる銃後の後援に依ることとは勿論である。しかも其の將兵の直接手となり足となり力となつて働いた兵器の功績も亦見逃すことの出来ないものが

ある。もし飛行機、自動車、戦車、無線機等が無かつたとして、到底今回のやうに短時日に偉大なる戦果を收めることが出来なかつたことは容易に了解出来ることと思ふ。

これと同時に、現在の戦闘が如何に莫大な兵器、彈藥を要するか、またその補給が如何に困難で、しかも重要なことであるかも十分に認識の要がある。

今や世界はそれの立場に於て軍備の充實に汲々とし、世界大戰前夜の感なきにしもあらず、皇國も亦東亞の新秩序建設といふ事變の現段階に立ち、これが實行を阻害せんとするあらゆる諸勢力、特に東洋赤化工作の禍根絶滅を期して、未曾有の國家總動員態勢下萬難を排し着々としてその整備充實に邁進しつゝある。

この際、今次事變が兵器に及ぼした影響と急速に大量の兵器を整備する現況の一端、特に兵器代用品採用の實際を述べ、以て一層兵器整備の認識を深め、いはゆる國家總力戦の見地より、軍民一致、この歴史的大事業の完成に貢獻せんことを希ふ次第である。

二 幾多實戦の試練を経て始めて三軍叱咤の名將となる如

く兵器も亦實戦の経験を経て始めて完全なものとなる。本事業に於ても、すべての兵器がこの試験を経て或るものは全軍の賞讃を博し、また或るものは所要の改正を要せられ、更にまた必要に迫られ新たに制式の制定を要せられたものも相当多数ある。

このやうにして今や皇軍兵器は、實際、東亞の天地に適した實戦的で且つ日本式な世界に誇り得る無敵皇軍兵器になりつゝあることは眞に意を強くする次第である。本事業を通じ最も痛切に感ぜられたのは、兵器が戰場に於て無故障であること、及び大量整備を要する兵器は、資源の關係、製造の關係等を十分考慮し設計せられねばならぬといふことである。

戰場に於て敵と離れを決せんとする際、頼みとする兵器が故障で役に立たないとしたらどうだらう。兵器の無故障は絶対的の要求であらねばならぬ。岩石凹凹のほげしい山路、泥濘膝を没する悪路、零下四十度の酷寒、華氏百二十度の酷暑、數十日に亘る豪雨、天日爲めに暗き猛風塵、亂暴な戰場に於ける取扱ひ、これらに對しても兵器は故障を起さぬやう、十分機構や構成材料等について検討を要する。即ち、一般民需品に比し運動性特に

耐震動、耐熱、耐寒、耐風雨といった點で特殊の考慮を要する。これが兵器の特異な點でしかも最も困難とするところである。

要するに兵器は、科學の尖端を行くと共に堅牢無比でなくてはならぬ。次に大量に整備せられる兵器が、資源の關係、製造の關係等を考慮せねばならぬといふことは當然の事であるやうであるが、歐米文化の輸入に専念の弊はこゝにもあつて、實際はこの問題で相當悩んだのである。將來は十分この點を考慮して兵器は設計せらるゝ必要があると共に、不足資源の補填に關する科學的の速かなる解決を望んでやまぬ。

三

兵器並びに兵器部品の制式を努めて統制單一化するに、補給、修理が容易なやうな部品の整備を十分に置くことなども、今次事業に於て痛切に感ぜられた事柄である。自動車や無線機に於て特にこの感が深い。將來この種大衆的のものも、戦時の利用を顧慮し主として國防的の見地からその種類の減少に努めると共に、重要

部品、例へば氣筒、活塞、眞空管、乾電池等は共通性を與へるやう、一般に研究の必要が認められる。

更にまた、一般材料關係に於ても同様の事柄が痛感される。ストックが減少し大量生産に移りつゝあるこの好機會に生産、使用共に便利なやうに、速かに規格の整理統一、新興材料の規格制定を希望してやまない。

次に事業以來、急速にしかも大量に兵器を整備するにあつて、どんな事柄が技術上問題となつたか、若干述べてみよう。

刀劍、小銃、機關銃、火砲、戦車、自動車、飛行機、彈藥類は、何といつても軍の主兵器で、整備數量も多くその生産の能率發揮に關しては、代用品の採用、規格の變更、制式並びに検査條件の検討、製造方式の改善等あらゆる研究努力が拂はれ、また現に拂はれつゝある。これらの細部に關しては、一部を後で述べることとする。

革製及び麻製の兵器が、革と麻との資源不足の爲め、全部に互り代用品を使ふことを餘儀なくせられ、また今まで餘り一般には深刻に考へられてゐなかつた銅及び銅合金並びに木材が資源不足となつて、極力節約や代用範圍の擴大を要求された。また一方、職工具や手入用屬

品類はなるべく普通販賣品をそのまま採用代用することが努められた。

ニッケル、コバルト、クワンダステン、モリブデン、ワナヂウム、アンチモン、鉛、錫、亜鉛、白金、マンガン、水銀、ラヂウム、セリウム、硼砂、雲母、水晶、石綿生ゴム、クニニン等は國內資源が皆無であるかあるひは頗る貧弱で、貯藏、増産、節約並びに代用に特に必要なることが確認せられ、それらに對策を講ぜられた。

アルミニウム、マグネシウム並びにこれらの合金は、希望生産量に達せざること遙かに遠きを痛感せしめられた。また銲接技術の進歩に伴ひ銲接作業が大いに利用せられた。

銃砲洗滌頭植毛に使用する豚毛が不足したのも超非常時らしい現象と思はれた。

更に自動車、彈藥類の種類の統制と整理、特殊鋼の規格整理も、眞剣に考慮せられ現に一部は既に實行に移されたものもある。

光學兵器の如き精密兵器は、急速に大量を整備することとは特に困難で、そのため機能精度に重點を置き、從來要求されてゐた鏡内の塵埃、氣泡、曇等の採用程度は實

用に支障なく保存を甚だしく害さない程度まで低下されることとなつた。尙ほ現在は市販の雙眼鏡類を代用品として採用することに關しても考慮せられてゐる。

四

軍が事變以來代用品採用の國策に順應して、率先その實現に努めつゝあることは周知のことと思ふ。現に資源の關係に依り必要に應じ代用品として採用差支へなしと認められたものは、航空關係を除いて考へても一萬餘件で、この外に規格を變更せられたものが四百數十件に上つてゐる。

以下これら代用品採用の細部について少し述べてみる。
小銃、機關銃、火砲、戦車、自動車等は多く特殊鋼を使用してゐるが、ニッケル、コバルト、クングステン、モリブデン、ワナヂウム等の資源節約のため、成るべくこれらの含有量の少い特殊鋼、更に進んでは一般普通鋼を以て代用するやう努力が試みられ、現に相當代用を認められたものもある。銅はその資源が豊富であるとの従来の觀念から、銅及び銅合金の使用は今から見れば餘りにも贅と思はれる箇所もあつた。従つてその代用

品の採用、更に進んで制式の變更を見たものは著しい數に上り、時局に鑑み更に一層節約代用に努めつゝある。現在の代用材料として使用せられてゐるものは次の通りである。

鍛鋼品、棒鋼、鋼材、鋼板、鋼管、針金、鋳鐵、可鍛鐵、鋳鋼品、發動機鋼、發條鋼、自動車鋼、一三%クロム不銹鋼、ブリキ、亜鉛引鐵板、アルミニウム、アルミニウム合金、セロイド、フェニールレジン、ファイバー、堅木、化粧ボール紙、細川紙等

次に革及び麻製品については、代用品のないものはない程度にまで代用品を利用してゐるが、革の代用材料は次のやうである。

厚織綿帶地、平打綿絲絨、上・中・並綿布、厚麻布、薄麻布、ゴム引膠綿布、アトバーク、ファイバー、絨革、鯨革、鯨革、馬革、豚革、撥革等
麻布の代用としては主として綿布を、また麻索の代用としては、マオラン、サイザル、いちび、黄麻、しなのき、芭蕉等が使用されてゐる。
木材もその選擇範圍を著しく擴大され資源の取得を容易ならしめられた。特に中箱、小箱、匣、隔板類にベニ

ヤを認められることになつた。

これら代用品採用、規格變更の實例については遺憾ながら多くを語る自由を持たぬが、若干例を述べて参考に供したい。

軍刀の鍔、鎗の黃銅部分がメタリオンを行った極軟鋼板で代用され、小銃の銃口蓋が黃銅をセルロイドで代用せられてゐる。また彈藥蓋や銃劍の帶革、劍差が褐色多脂牛革を上・中綿布、ゴム引膠綿布、アトバークは勿論、銀面のない肩革の代用まで認められてゐる。火砲の後坐測尺、分畫環等は青銅、黃銅節約の爲め十三%クロム不銹鋼で代用せられ、眼鏡類の分畫板、分畫環、分畫筒類もニッケル資源節約の爲め白銅部分を黃銅若しくは黃銅にクロムメッキで代用せられてゐる。自動車類の星章も黃銅が極軟鋼黃銅メッキとなり、車輛タイヤもある程度の再生ゴム使用を認められんとしてゐる。

乗鞍馬具について見ても、乗鞍はやむを得なければゴム引膠綿布、豚革、馬革の代用を認められ、頭絡大、小勒繩は防水した厚織綿帶地の代用まで許されてゐる。また革條類は撥革を許され鞍の鞍革でさへ二枚接合

を認められてゐる。

眼鏡の囊、電話機の鞆等も革が綿布で差支ないこととなり水袋、麥袋のやうな麻布も上・中・並綿布でそれ／＼代用せられた。

繫馬杭、繫留杭、橋礎杭、輜重車の輾木、遊動棍等の堅木も東北産の地なら(木の名)で代用を認められ、通信器材の電柱、鐵柱、自動車用の廢掃もそれ／＼竹で代用を認められてゐる。

その他電話機の避雷器のエポナイトをフェニールレジンで、同じく大齒車青銅を良質布入のフェニールレジンで、また彈丸彈塞や各種發煙筒點火劑室の亞鉛や鉛を、非酸性のフェニールレジンでそれ／＼代用してゐる。

通信器材の直柄碍子、曲柄碍子の黑色エポナイトを動かなくともよいもの限り硬質磁器碍子で、また彈藥部品中、錫、錫箔の代用として鳥の子紙、ゼラックワニス塗布の雁皮紙で代用し、更に綿布にゴム引した浮囊を特殊加工の紙を以て代用してゐるなど、注目に値するものもある。測秒計、測秒器、懐中時計は全部國産品を使用し、軸受硬石は事變前「七」に低下を認められ、標準時計、精密時計も若干規格を低下して全部國産品を使用す

更に臺灣の芭蕉纖維、樺太のツンドラ、北支の天津、滿蒙の牛皮革等も既にそれ／＼兵器材料として使用を認められてゐる。

五

戦争は新しい文化を創造する。

皇國は今や曠古の聖業達成のため舉國一致總力を發揮して一路邁進しつゝある。その事業が未曾有のものであるだけ苦惱の大なるもの亦やむを得ぬ次第である。

矢は既に弦を離れたのである。目的を貫徹するまでは如何なる苦惱、如何なる干渉をも排除して斷乎進まねばならぬ。

東亞の新秩序建設、皇道日本の世界宣布はこの機會を逸しては他にないのである。

物資動員も本年は愈々本格的に一層徹底の要ある模様であるが、歐洲大戦當時の各國、特にドイツのそれに比すればまだ問題とならぬものである。

「窮すれば通ず」で、この際、國民一般全智囊を動員して不足資源の探究とその補填に努むれば、必ず新しい一層良好なものが多數生れることは信じて疑はぬ。特に

滿洲、支那の新資源は大いにその開發を期待し得る現況に於て、何等悲觀は要しないのである。進んで大いにこれら資源の開發に乗り出すべきである。

前述の如く兵器も代用品の採用を大いに努めてゐるが、實際は戦力の低下、製造の困難、その他各種障礙のため問題として残された重要なものが相当多數あるのである。一、二の例を述べれば、兵器として最も需要の大を豫想せられる藥莖、信管、彈丸彈帶、電線等の問題は

未だ研究中で、一部のものを除いてはこの解決は將來に残されてゐる。また鉛、ニッケル、アンチモン資源と關係を有する實包被甲、彈身の問題も未だ解決を見てゐない。絶對他のものを以て代用を許されずとすれば、それ

までと思はれるが、科學日本は必ずこの難問題を解決してくれるものと信じた。

更に現在軍が認めた代用品、規格變更品必ずしも全部満足なものばかりではないのみならず、資源の關係上やむを得ず一時的に代用されたものも相當にある。これらは使用と共に自然に淘汰せられ性能の良好なもののみが

將來の兵器として残されるものと考へられる。従つて現況に満足することなく更に大いに創意工夫と研究改善を圖り技術の向上進歩を圖らねばならぬと考へる。

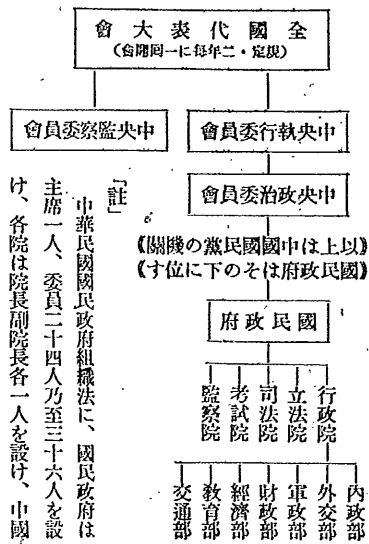
五中全會について

はしがき

最近の新聞に、支那のことについて度々「五中全會」に関する記事が出るが、この五中全會といふのは正確にいへば「中國國民黨第五屆中央執行委員會第五次全體會議」で、それを五中全會と略稱したものだ。この略し方は、第五次の五と、中央執行委員會の中と、全體會議の全とを結びつけたもので、正確な名稱を棒讀みにした氣持からいへば、五と中とが顛倒してゐるやうに考へられる。しかし國民黨の最高機關を「中國國民黨第〇次全國代表大會」と呼び、これを「〇全大會」と略稱するので、これに調子を合はせて數字の五を上にし、中の字を下に置いたのであらう。また第五屆(屆は期、回の意味である)中央執行委員といふのは、五全大會で選舉された者で、第五期の執行委員である。そして中央執行委員會の會議には常務委員會と全體會議との二つがあり、全體會議は半年毎に一回開きこの會議を開

外務省情報部

くまでのことは常務委員會で決定執行する。なほ中央執行委員會の地位を説明するために次の表を掲げることとした。



【註】 中華民國國民政府組織法に、國民政府は主席一人、委員二十四人乃至三十六人を設け、各院は院長副院長各一人を設け、中國國民黨中央執行委員會よりこれを選任す(第十一條)。國民政府主席は中華民國の元首にして、内外に對して國民政府を代表す。但し實際政治の責任を負はず(第十一條)。國民政府のあらゆる

命令、處分及び軍事動員に關する命令は、國民政府主席の署名によりてこれを行ふ。但し必ず關係院の院長部長の副署を要し、茲に始めて效力を發生す(第十四條)。憲法を發布するまで、行政、立法、司法、監察、考試の各院は、各自中華民國國民黨中央執行委員會に對して責任を負ふ(第十五條)。

とあり、日本の組織に當はめて考へると、國民政府や同政府主席の地位は附に落ちなくなるが、以上の規定を通じて、國民政府が國民黨中央執行委員會の支配下に在ることは判明するであらう。

一月二十日から重慶(現在國民黨の本部はこの地に在る)で五中全會が開かれると公表されたので、各地の抗戦派や偽裝抗戦派の諸團體は祝賀、激勵、迎合を兼ねたやうな電報を重慶宛に打つた。しかるに二十日の上海支那新聞には、アメリカのユー・ピー通信社及びイギリスのルーター通信社の十九日重慶發電報以外には、この會議に關する現地からのニュースは何も出なかつた。前者は(イ)共產黨側が宣傳の目的で出したニュースと思はれるやうな二十四項の議案と(ロ)共產黨の領袖周恩來の談話とであつた。周恩來の談話については下のやうに報せられてゐた。……國民

政府の唯一の共產黨官吏周恩來は、ユー・ピー記者に、抗戦により國、共二黨の協力は非常に密接になつた。兩黨黨員の政治上の見解は同じくなくともあるが、最後の目標が聯合戦線をつくつて戦ひ、新支那を建設するに在ることは一致してゐる。この目標に到達するために、共產黨は二項の提案をしようと思つてゐる。第一は共產黨員が國民黨の青年團(三民主義青年團を指す)などの團體に加入の許容を要求するものであり、第二は二黨の聯合委員會を組織して共同動作を促進せしめようとするものであつて、第一案は通過しないにしても第二案は可決されるものと思ふ。……

後者のルーター電報は、五中全會は近く開會するが、しかし開會の時間と場所とは秘密を嚴守し、參會者及び會場の職員には悉く特別の徽章を交付することになつてゐる。各地の黨員官吏武官の有力者が日々重慶に到着するのは、一月二十日の會期が已に迫つた唯一の象徴である。大會の決議事項は昨年四月漢口に於て舉行された國民黨臨時大會の先例に倣うて、閉會後發表されるものと、一般に信ぜられてゐる。當局はこの會議に對して萬事秘密を嚴守してゐるが、多

分これは全國の各領袖の安全を保護するため、日本飛行機の爆撃を防止するのが目的であらう。政府は昨日重要會議を召集して、大會の提案に對して意見を交換したさうである。

と報じた。彼等抗戦派の領袖連なる者が我が荒鷲の威力を如何に恐れてゐるかがこれによつても想像される。

會議の内容はルーター電報の通りに開會中は全く發表されず、一月三十日に至つて始めて、さしつかへないところだけを續めて各地に打電された。それによれば會議狀況は大體次の如きものである。

三 概況 五中全會は一月二十一日開會式を舉行し、蔣總裁が開會の辭を述べた。その翌日は日曜で休會、二十三日から二十九日まで毎日會議し、五中全會の宣言文も通過して、三十日に閉會式を舉行した。豫備會議一回、本會議七回、參加した執行委員、監察委員は合計百五十五人(註。監察委員は議場に入つて意見を述べることが出来るが、賛成不賛成の裁決に參加する資格は與へられてゐない。それで執行委員の出席といふに對し監察委員の場合は列席と稱し

はつきりその二つを區別してある)で前の三回よりも人数は多かつた。提案は合計三十五件でその内譯は黨務十件、政治七件、經濟十二件、教育三件、軍事三件であつた。會議は黨務、政治、軍事、財政、經濟、交通、教育の各項報告に對して、悉く徹底的に検討してそれら重要な決議をしたと吹聴してゐる。

二 主要決定事項 提案は三十五件であつたがその中から次の十六件だけを決定したと報じてゐる。一、縣以下の黨政機構の改進實施案 二、西部各省の生産建設とその統制案 三、三民主義叢書編纂案 四、黨の作業方法改進案 五、徵兵方法改善案 六、第二期戰時財政金融計畫案 七、地金銀と紙幣との交換及び採金強化に關する案 八、手工業を獎勵助長して戰時國民生計を裕にする案 九、地方金融調整方法案 十、前線經濟基礎強化方法案 十一、輸出貿易改善及び外國爲替所理方法案 十二、組合組織推行案 十三、黨員官吏武官は率先してその適齡子弟を入營せしむべきことに關する案 十四、國防最高委員會設置案 十五、中央執行委員會常務委員陳公博脱出によりその補缺として王法勤を常務委員に推舉する案 十六、宣傳部長顧孟餘は未だ就任せず、副部長にして部長代理の周佛海が

脱出したるにより葉恭綽を推挙して宣傳部長とする案。この決定事項については、たゞ項目を挙げただけで何等の説明も加へられてゐない。この外未発表事項に重要な問題があるであらうことも、勿論想像される。

右の中で政治問題として最も各方面に重大視されてゐるのは、第十四項の國防最高委員會を設置することに決したことである。共產黨は國民黨との提携後にもなく國防政府の樹立を公然希望して、非常時特殊政府の要を口實に抗日戦線を牛耳るべく策動したが、蔣介石一派は最近までその希望を容れなかつた。

しかるに連戦連敗後の蔣派の勢威が大いに減じて來たのに乗じ、共產黨は豫てからたくらんでゐた陰謀を一氣に實現すべく、異名同質の同委員會設置方を決定せしめるに至つたと信ぜられる。この委員中に數名の共產黨領袖が任命されるであらうとの噂がしきりに傳へられてゐる。蔣介石側は英米を懼りまたは對内的威信を慮つてか、共產黨勢力の擴大をひたかくしにしてゐるが、これでは頭隠して尻隠さずで、結局隠し切れないまでに勢力がなくなつたのである。それでも口先だけは依然として最後の勝利を確信するなどと強がりをつけてゐるが、あれもこれもさうい

ざるを得ない破目になつたのであらう。

右の決定事項中にある如く、常務委員や宣傳部長は補充したが、除名された前副總裁汪兆銘の後任については發表されてない。この候補者として孫科、于右任等が噂に上つてをり、親ソ派は熱心に孫科を押し立てるさうだが、共產黨側では汪の後釜に孫をもつていつたのでは、あまりに露骨すぎて外部の感じも面白くなからうし、英米側に對しても香ばしからぬ結果になりほしくないかといふので、この問題に關する限り孫の背景は一致を缺き、孫自身の立場は進退兩難に陥つてゐる。右派でもそれを好いこととして副總裁の椅子を奪ふには適當な時機とは考へてないであらう。于右任の可能性如何については判明しないが、歸するとこゝろ左右兩派の暗闘が障害となつてこの問題は行儀んせゐるものと認められる。

三

五中全會は恒例によつて宣言文を發表した。これはこの會議について國民に告げたものである。全文は相當に長いが、徒らに抽象的な辭句を連ねて失墜した信用を取返さうとする宣傳の苦心があり／＼と出てゐる。次にその要點を

摘譯しまたは評釋してみよう。

……廣州の守を失ひ武漢から撤退した後、抗戰の局面は前期から後期に進んだ。後期抗戰の任務は前線、後方及び占領された地區の一切の抗戰力を集中發揮して、最後の勝利と建國の成功との獲得を期するものである。今後の奮闘は我が（支那）民族の存亡興衰の關鍵である……支那は前期の抗戰で勝利の基礎を築いたと云はうとしたものか、日本にゐる外人に聞かせたら、請合ふき出すやうな出鱈目な捏造をやり種々様々なことをいひ……支那の抗戰最後の目的は自由平等を求むるにあるのみで、これがために起つたのだとて、弱者に對する安價な同情を第三國に求むるやうな調子で述べ……續いて英、佛、ソが援助を與へて呉れる好意は決して忘れない、と感謝の辭で今後の援助を釣らうとつとめ……孫文の實業計畫中にあつた萬國互助のため、共同で支那の經濟開發を謀る者は、當然それが實現されるが、一個人或ひは一民族の私利のためにする者は必ず自然に失敗する、といふ意味の句を引用して、援助を與へる者には利権を提供する意志があるかのやうな謎をかけ、轉じて抗戰建國を完成して世界の平和を保障すると大言壯語してゐる。……それから三民主義の效能を説き、最

高統帥者（蔣介石）を指すに服従して一致積極奮闘することの必要に言及し……國防最高委員會を組織して國民黨や國民政府の行動と軍事行動とを合致せしめて能率をあげることにした。……統制經濟を實行して生産消費を調節する……と説き來り説き去つて後、最後に抗戰勝利の日は建國成るの日であると自畫自讀して結んでゐる。

四

さらに五中全會の名義で軍事委員長蔣介石に轉達して貰ふ形式で抗戰將士への慰勞電文を發表し、その外に、蔣政権が頼みにしてゐる華僑すなはち在外支那人宛には、僑務委員會に轉達して貰ふことにして、慰問感謝を併せて次のやうな言葉を含む電文を作つた。

抗戰十八ヶ月の艱苦奮闘を経て、遂に日本の銚先を折り、進退谷まる境地に陥らしめた。これは固より最高統帥者の方法宜しきを得たのと、全將士の忠勇命令に服した結果ではあるが、また我が在外同胞が祖國愛に燃え、進んで奮附金を出して軍費を充實して呉れ、それがために國際關係が非常に善くなつたことが極めて大きな力となつた。誠に感激の至りである。……

海南島とはどんな所か

大本營陸海軍部公表（昭和十四年二月十日午前九時五十分）
我が陸海軍の精銳部隊は、今、緊密なる協同の下に海南島の奇襲上陸に成功し目下進軍中なり。

我が精銳部隊が奇襲上陸に成功した海南島とはどんな所か。地理、産業、交通、軍備その他についてあらましを解説しよう。

概観

海南島（別稱瓊崖）は廣東省に属する巨島で、東西六十二里、南北五十五里、全面積約二、七〇〇平方里で、臺灣より少し大きい。（臺灣本島の面積二、三三〇平方里）
本島には良好な港灣はないが、佛領印度

支那と香港の中間に位し、北は海南海峡を隔てて雷州半島に對し、南支那海の價値に當り、軍事上並びに經濟上極めて重要な意義を有してゐる。

海南島と國際關係

本島は日、英、米、佛の屬領の間に介在し、地的に重要性を有するばかりでなく、未開發資源として列國注視の的である。先に一八九七年佛清條約に於て、佛國は本島を他國に割譲し又は軍事上の諸設備を施すを得ざる旨締結した。また一九一六年、中米協定では、樂會より海口に至る鐵道建設に關する限り米國資本に依るべく、中國は他國に借款を求むる能はざる旨規定してゐるが、本計畫は實行されなれて終り、次いで

地理

本島は概して西南部たる所謂黎原山嶽地帯とし、東北部は蜿蜒たる低平原又は平地を成してゐる。
本島は亞熱帶圈内に在るから、わが國に比し夏季甚だ長く冬季短く、偶、降雹を見ることがあるも極めて稀である。

住民

一、人口—漢族、黎族より成り、總人口約二百二十萬、うち黎族は約三十萬を占めてゐる。



にこれを黎、伎、倭に細別せられる。

在留外人は昭和十二年五月調によれば、米國人四十九名、醫師、宣教師、佛國人十二名、佛領事並びに宣教師、英國人一名、宣教師で、その他支那稅關内に

二、種族—漢族は廣東省潮州方面より來たものと、一部の閩、廣族より成る集團で、本島では「福佬」又は「廣客人」と稱せられる。
黎族は黎族と苗族とに分れ、黎族は更

の渡航費三〇元、風土氣味と大差なく、移住に苦痛を感じずといふ。
三、言語—本島の言語は廣東語とは別箇で、福建語に近く、黎、苗族は特有の言語による。また島内地方に依り言語を異にする。

るが、海口附近にて使用する海南語は概ね全島に通じ、華人と雖も女子を除けば海南語に通ずるものが多いといふ。

四、宗教—佛敎、道敎、回敎、基督敎がある。佛敎は大なる發展を見ないが、道敎は本島各地に散見する。回敎は僅かに崖縣三亞港にあるのみで信者約三、四百人に過ぎぬ。天主教は海口その他に教會、附屬小學校、孤兒院を有し、新敎は米國長老教會派に屬し約四十年前より布敎を開始し、教會、病院、小學校、中學校等を經營し布敎、教育及び醫療に従事してゐる。現在新敎徒三、〇〇〇名内外、天主教は新敎ほどは振はない。

行政と治安

廣東省に屬しその施政下に在り、瓊州府城が首府である。第九區行政督察專員公署が設置せられ、昭和十一年十月より全島行政總務機關となる。本島の下に全島各縣縣廳があつて全島の行政を掌る。



理藩のため四ヶ所に撫慰局を設置してあるが、撫育、開發の見るべきものなく、反つて苛酷な徴税により反感を招いてゐる。治安は保甲制度を布いてゐる。

産業

一、農 産 氣候温暖、地味豊饒だが文化は後れ、農民は生産方式の改良を知らない。水田は年二回の收穫あり、種子を改良すれば年三回の收穫もまた可能であらう。蔬菜も豊富である。

農産物中輸出せられる主なものは、瓜子、胡椒、黄白胡椒、椰子、檳榔、荔枝、龍眼、この外珈琲、護膜等があり、輸出は少くない。二、水 産 漁業は四面海をめぐらし水利に富み、魚類五十餘種、介類十餘種を有し、遠洋漁業に従事してゐるものもある。鹽業は島の四圍は悉く鹽田で、島内消費の外、約五十萬擔の移出量を見る。三、林 産 南部地方山嶽地帯は氣候炎熱雨量大であるから、各種の植物の發育に

適し、森林面積二萬九千八百餘方支里に達する。

四、鑛 山 雲南、貴州、湖南、廣西諸省の鑛産區と比肩し得べきも、未開發の狀態に在る。既に發見せられたるものは金、銀、銅、鉛、錫、水銀、鐵、石炭、石油の多種に上る。

五、工業 極めて小規模の製鹽廠、啓明電燈股份有限公司がある。

財政經濟

本島の財政は中央政府收入と省政府收入との二種に分れる。中央政府收入は海關、鹽稅收入、統稅、その他で、省政府收入は地租を主とする。

金融は幣制改革以來中央紙幣が流通してゐるが、かさなる政變毎に苦き經驗をなめたので、香港紙幣の信用が大である。華僑の送金はシヤムや南洋各埠よりの送金二千萬乃至三千萬元に及んだことがある。

交通

海南島の交通は海口を以て中心とする。海上交通は香港、廣東、汕頭、厦門方面へそれ／＼太古洋行(英)、佛國郵船等の定期航路がある。

陸上交通は公路を以て主とし、全島自動車數六百餘臺。主要公路は四千餘支里に達してゐる。環海路幹線が本島をぐるつと廻つてゐる。

航空路は廣東より茂名を経て瓊州に至る一路で、毎週二回定期がある。廣東午前八時發十一時四十分瓊州着、十分乃至十五分の後歸航、午後四時廣東に着す。

鐵道は敷設計畫のみに止まり現存しない。

港灣は海口が主要なものだが、海口港内沙灘多く水路狹隘で大小汽船は港外約三哩に停泊、帆船により貨客を荷役する石棧である。この外に舖前港、清瀾港、榆林港、三亞港、新英港、藤橋港等がある。

軍備

本島駐屯の軍隊は廣東總督主任余漢謀の部下たる百五十二師一ヶ師で、三ヶ旅を有し、兵數二萬五千と稱せられる。

衛生

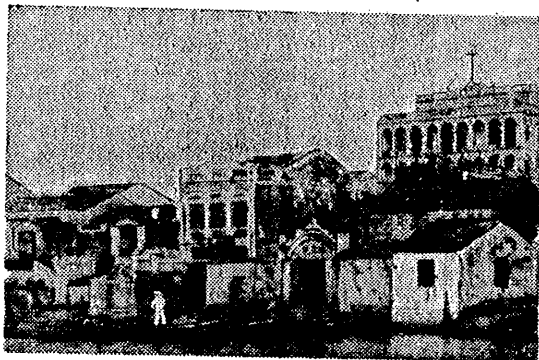
黒死病、コレラ、赤痢、腸チフス、天然痘等の流行病がしばしば流行する。文化低く衛生思想設備共に乏しい。風土病にマラリアもある。

海口に米國教會、福音醫院、佛國中法醫院、支那海南醫院の三醫院があり、内福音醫院は最も大きく自家發電装置を有し諸設備が最も完備してゐる。

場所柄特異なのは、動物の害で豹、熊、蛇、コブラ、竹蛇、珊瑚蛇が恐ろしく、山中には山蛭多く通行者を悩ますこと大きいといふ。また植物では、土人が毒矢に付ける曼陀羅華といふ灌木がある。

- 一、瓊州 主要官衙

第九區行政督察委員公署、瓊山縣廳、第一百五十二師司令部、師範學校、中學校、女學校



二、海口

海南關監督公署、公安局、交通處、瓊海關、郵便局、無線電信局、四五六旅司令部

部、米、佛、支病院、電燈公司(啓明電燈股份有限公司)

外國權益

一、海口

米國 スタンド・ド・オイル・カンパニー、教會一、福音醫院、瓊南華美中學校、中西四種女學校

英國 亞細亞石油會社、太古代理店、佛國 領事館、中法醫院、教會一、修道院一、學校二

日本 勝間田農園(一名、日本農園)

二、嘉積 米國教會、附屬病院、附屬男女學校

三、那大 米國同右

四、文昌縣 米國教會巡回福音堂

五、安定縣 二ヶ所に佛國天主堂
正誤 一月二十五日(第一一九號)中二十二頁下段四行目「感謝」は「感謝」、二十七頁下段終から四行目「遺憾」は「遺憾」、四十一頁上段終から二行目「十二月十二日」は「十月十二日」、四十三頁上段三行目「保存」は「依存」のいづれも誤り。

露光量違いにより重複撮影

寫眞
週報

二月十五日發行
第五十二號

◎水ぬるむ玄武湖
◎平和な春が来た

新しい春が支那國民たちの上に訪れた、大陸早春模様

◎黒潮の香を土産に

遼洋航海一萬二千海里、黒潮に接へ九海の子を産せてわが津南艦隊八隻、釣手の函館が歸港した。

◎工事進む關門隧道

わが國最初の海底トンネル、木州と九州をつなぐ關門海底トンネルの工事はどこまで進んだか。

◎海外通信

◎讀者のカメラ

定價十錢

寫眞
週報

官編編纂圖書だより

◇時局國民精神讀本(國民精神文化研究所編) 今次事變がはじまつてから朝野をあけて國民精神總動員運動が行はれてゐるが、國民精神文化研究所ではその一翼としての立場からこの讀本を編纂し、世に送ることとなつた。全部、同研究所々員及び研究嘱託の執筆したもので、左の十輯に分れてゐる。
1 臨時に於ける國民の覺悟(編纂者) 2 國體と時局(編纂者) 3 支那事變の意義(作田正) 4 國體と國家(大津現夫) 5 世界の動きと日本(藤澤親善) 6 御製を拜して(井上翠麿) 7 事變と教育(田原謙次) 8 非常時局と經濟生活 9 支那の民族性(加藤虎之丞) 10 國史上の對外戰爭(松本喜次郎) (印刷約一〇頁、定價各冊三十錢、第6に限り六十錢) 發行、東京市神田區錦町三丁目、官書局
◇航空要覽(週刊航空局編) 本邦及び諸外國における航空關係の諸表を收む。
内 國 本邦定期航空現況、本邦飛行場一覽、本邦航空機一覽、本邦民間飛行機要目、その他
外 國 各國主要民間航空現況、商業用飛行機要目、定期航空線表、世界長距離飛行一覽、國際航空線表、その他
なほ附録として、「日滿支航空線略圖」及び「世界航空線略圖」をつけてある。(印刷二四〇頁、發行、東京市芝區田村町、帝國飛行協會、定價一冊、送料九錢)

週報

昭和十四年二月十五日印刷發行

■編輯部
東京市神田區水田町
内閣總理大臣官舎内
印刷部
東京市神田區大塚町

定 價
一部 五錢
半ヶ年(前金) 一圓二十錢
一ヶ年(前金) 二圓四十錢
(外國郵便に依る場合は一ヶ年四圓八十錢)
半ヶ年分未納送金送附の方は一圓五錢の割合を以て前金を送へ御申込み下さい。

申 込 所
内閣印刷局發行課
電話九ノ内(三三二)一九
振替東京一九〇〇番
全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
東京市神田區錦町一ノ三三
振替東京九三九〇番
各書店・驛賣店

御 注 意
▲本誌より贈額の場合は必ず「週報附録」より贈額「の旨を明記し、且つ右贈額を内閣情報部印刷課郵務部第三郵務送付下さい。
▲本誌記事の無断転載は固断致しません。
▲掲載記事に對する御希望や編輯に關しての御意見を週報附録に附しての御意見を並へお送りの方は郵費一圓五錢
▲本誌へ廣告御希望の方は内閣印刷局へ

露光量違いにより重複撮影

寫眞 二月十五日發行
週報 第五十二號

（本報の）
（平報）

（黒潮の香を）

（工事）

（海外）

定價十錢
寫眞 週報

官報編纂圖書だより

（時局國民精神）
（航空）
（海外）

注意	御	所	達	申	定價		週報
					一部	五部	
					一年(前金)	一圓二十錢	昭和十四年二月十五日刊行 編輯部 印刷部
					半年(前金)	一圓十錢	
					内閣印刷局發行課	電話九ノ内二二一九	
					全國各地官報販賣所		
					東都書籍株式會社	東京市神田區錦町一ノ三三	
					各書店・書賣店		

技 術 講 習 生 募 集

日本放送協會ニ於テハ今回技術員ニ採用ノタメ技術講習生ヲ募集ス

資格
シテ中等學校卒業者
ニ本年度卒業見込ノ者

受驗願書
昭和十四年三月末日締切

受驗手續其ノ他詳細ハ受驗志願者心得閱覽ノコト
尚右受驗志願者心得郵送希望者ハ三錢郵便切手封入東京市世田谷區鎌田町日本放送協會技術研究所又ハ大阪、名古屋、廣島、熊本、仙臺、札幌ノ各中央放送局宛申込ノコト



日本放送協會

週報

昭和十一年十月一日 第三種郵便物認可
昭和十一年二月十五日 第一回水曜日誌

内閣印刷局印刷發行



厚生保健に

強力ビタミンB劑

オリザニン

「ビタミン無くして生命なし」とまで言はれる程健康保持増進に絶対必要な栄養素はビタミンであります。ビタミンBの不足は未だビタミン不足症候を呈せざるに元氣銷沈し活動性の減退を認めると言はれて居ります。斯かる際ビタミンBの世界的始祖たるオリザニンの適切な補給は疲勞衰弱の防止と恢復を始め食慾不振並に便秘、肺結核、肋膜炎、脚氣の治療と豫防、乳兒脚氣、成長障礙體力維持増進に著効あることは既に實驗諸家によつて立派に實證されて居ります。

(粉末、錠劑、液、エキス) 注射液の各種



説明書進呈

東京市日本橋區室町 三共株式会社

(判[A5]格規定圖はさ大の書本)